

# 名護湾地区大型魚礁調査

## A 魚礁

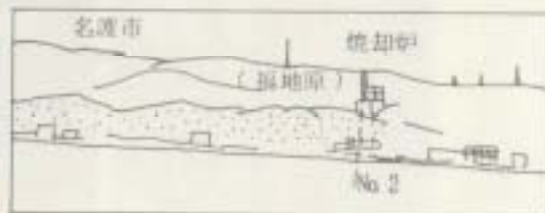
1. 設置年度……昭和46年度
2. 個数……1,235個(1.5m角コンクリートブロック)
3. 場所……水深61m~62m
  - a. 設置場所……武瀬名埼より真方位17度、2700m  
 Long 26°-33'-48"N    Long 127°-56'-40"E
  - b. 山立て方法……① 武瀬名埼の海中展望台と名嘉真の先の離れ岩(沖側)とを結んだ線  
 ② 名嘉真岳山頂と安和の琉球セメント工場(最高)とを結んだ線
  - c. 山立て図及び写真



① 安和の琉球セメント工場、手前は離れ岩



② 宇茂佐方面 焼却炉の煙突が建物の端に来る





③ 宮里方面

↑宮里の磯れ岩

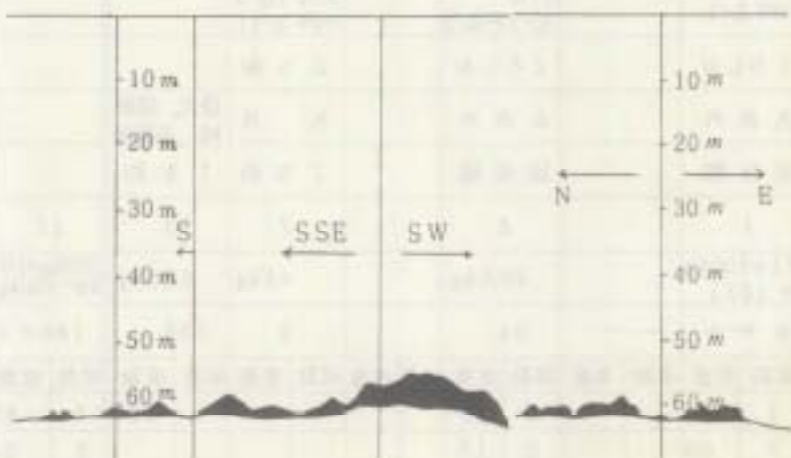


④ 海中展望台方面  
ブイは魚礁の位置を示す



4. 魚礁の設置状況

a 魚礁設置断面 (魚標記録)



b 魚礁配置形勢模式



(1, 2, 3, 4は1段…4段積み)

### 5. 魚獲効果確認調査

釣獲魚種数は51種、採集1回(1日)の最多漁獲尾数は20尾、最高漁獲量は14kg、最少尾数5尾、最低漁獲量は1.7kg、漁獲尾数で多いのはリュウキュウアカヒメジ9%、ヒメジ6.9%、アオチビキ5.9%、重量ではスジアラ12%、オオモンハタ8.1%、アオチビキ、リュウキュウアカヒメジが各々4.6%である。(これは釣獲赤海亀100kgを含まない%)

釣獲率(底延縄調査結果)は昭和50年度、51年度の結果から7.5%~17.9%であり、天然漁場にそんな色はない。科別にみると、フエフキダイ科8種、29尾、15.4kg、フエダイ科4種、24尾、8.5kg(アオチビキ、キンセンフエダイ主体であるが小さい)、ハタ類(スズキ科)8種、29尾、26.5kg、アジ科9種、26尾、21.2kg、その他80尾、28.4kg+海亀1となつて比較的アジ科のヒラアジ類が多いのが特徴であり、これは漁業者からのきき取り調査からも明らかである。

次の表で調査結果(委託を含む)と主要魚種写真を示す。

名護沖大型A魚種調査

調査年度	50				51				53				合計	
	水試		漁業者		水試		漁業者		水試		漁業者			
調査月日	50年3/1				51年 8/31-9/2				53年10/3 54年3/11					
調査船舶	くろしお				くろしお				よう船					
調査員	久貝外				久貝外				久貝		登川、徳納 村、名護市			
調査漁具	底延縄				底延縄				1本釣		1本釣			
調査回数	1				4				2		10		17	
魚獲量	7.1+100kg =107.1				26.6kg				48kg		620kg		100kg+100 kg=200kg	
尾数	9+1				34				8		138		188+1	
魚種	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量
ヒラアジ	1	10			2	23					1	12	4	45
ムロ	3	09			5	15							8	24
海亀	1	100.0											1	100.0
アマミフエフキ	1	04			2	12							3	16
オオモンハタ	3	4.8			2	2.6					1	0.7	6	8.1
メイチダイ					4	1.9			2	1.8			6	3.7
タマメイチ					3	2.1							3	2.1
ホウセンキントキ					3	0.9			3	1.6			6	2.5
ホオアカクチビ					4	2.2							4	2.2
アカハタ					3	1.5					4	0.8	7	2.3
ヒブダイ					1	2.0							1	2.0
コトヒキ					1	0.5							1	0.5
コバンザメ					1	1.1					2	1.5	3	2.6

	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量
ローニンアジ					1	11							1	11
マハタ					1	23							1	23
ホシカイワリ					1	34							1	34
イトフエフキ									2	09			2	09
ハマフエフキ											5	30	5	30
アオチビキ											11	45	11	45
ヒメジ											13	31	13	31
フエフキダイ											5	12	5	12
ベラ											2	08	2	08
フエダイ											3	09	3	09
エラブウミヘビ											2	06	2	06
スジアラ											6	120	6	120
ヒトスジタマガシラ											1	07	1	07
リュウキュウヒメジ											10	25	10	25
セタカアカハタ											2	06	2	06
エカタハタ											1	04	1	04
イトヒキキントキ											1	05	1	05
キンセンフエダイ											7	20	7	20
リュウキュウアカヒメジ											17	46	17	46
イトヒキアジ											2	37	2	37
ベラハタ											2	04	2	04
カスミアジ											3	28	3	28
コバンヒメジ											2	03	2	03
タイワンダイ											4	38	4	38
マルヒラアジ											1	01	1	01
トンキンイトヨリ											6	05	6	05
ヒライトヨリ											3	10	3	10
ヨスジフエダイ											3	10	3	10
モモイトヨリ											3	10	3	10
イトヒラアジ											3	14	3	14
シマアジ											3	18	3	18
タカサゴヒメジ											2	09	2	09
シロブチハタ											4	04	4	04
ミナミヒメジ											1	01	1	01
ネスジイラ									1	05			1	05
シロダイ											1	07	1	07
タキベラ											1	04	1	04
ワニエソ		(40g)											1	00.4

名産沖大型人魚類



クマメイチ



アマミフエフキ



メイチダイ



イトフエフキ



ホホアカクチビ



コトヒキ



ロウニンアジ



イトヒキアジ



オオモンハタ



ヒブダイ



- 1…アマミフエフキ 2…ホホアカクチビ  
 3…コバンヒメジ 4…キツネベラ  
 5 9 13…メイチダイ 6…シロダイ  
 7…イトヒキアジ 8…キツネウオ  
 10 11 12…アカハタ

→ 恩納村  
 水産係の  
 調査結果



- 1 4 6 7…コバンヒメジ 8…メイチダイ  
 2…タキベラ 9…イトヒキアジ  
 3…アカハタ 10 11 12…タイワンダイ  
 5…モモイトヨリ

## B 魚 礁

1. 設置年度……昭和53年度(竣工 昭和53年11月)
2. \* 個数……1,420個
3. \* 場所……水深92~93m
  - a 設置場所……Lat 26°-33'-42"N Long 127°-55'-34"E
  - b 山立て方法……① 安和の琉球セメントタンク内と海岸側のタンク附が、海岩の岩の右端にカップ状になる。  
② 宇茂佐の丘の上にある焼却炉の煙突と裏山の電柱が一直線上になる。
- c 山立て図及び写真





① 安和の琉球セメント工場 手前は離れ岩



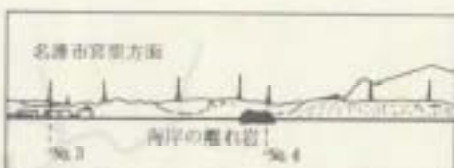
調査の目的は、この地域の地質構造を明らかにし、その成因を明らかにすることである。調査の結果、この地域の地質構造は、以下のように示される。



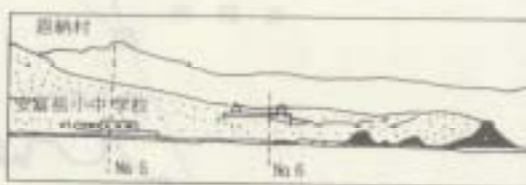
② 宇茂佐の上の方の焼却炉  
(煙突と裏山の鉄塔〔電柱〕が交叉する)



③ 宮里方面 (中央は離れ岩)



④ 安富担小・中学校 (海岸側)



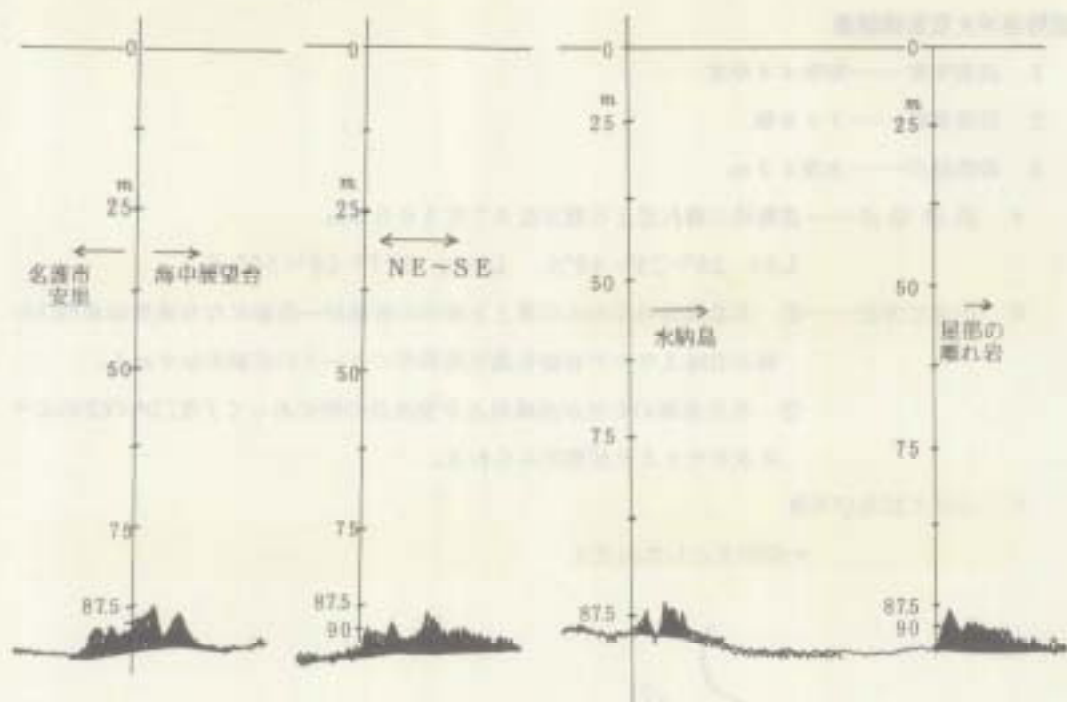
⑤ 屋嘉岳と南恩納方面 (レーダーサイト)



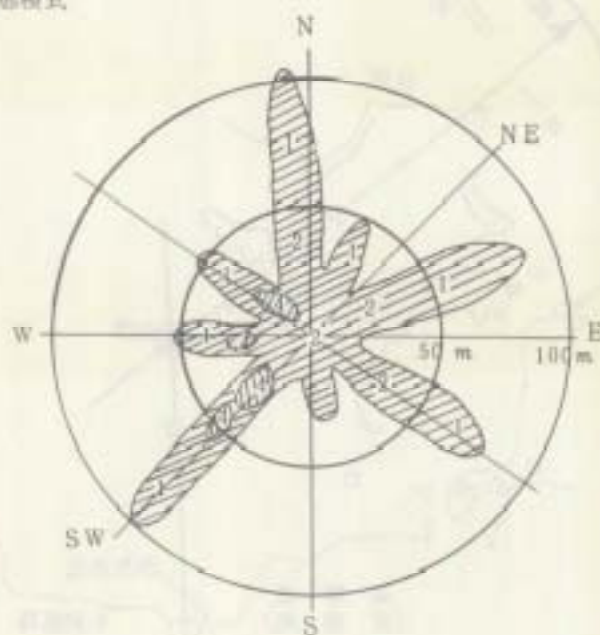
#### 4. 魚礁の設置状況

愛知県立大学水産学系

##### a 魚礁設置断面（魚探記録）



##### b 魚礁配置形態模式



#### 5. 魚礁効果確認調査

約4ヶ月経過した54年3月初旬の調査では、釣り手5人で約3時間操業でキスジイラー尾だけであった。